

(1) ダダダダダーンと、フクメンたちはキカン銃をうちましたが、ロボット太郎は「へいきだい、ロンロンロン。いくぞー」

(2) 「えーい、ロロン」「わッ、ウツ、キュー」ドデーンとたちまちふたりのフクメンはノサレてしまします。

(3) 「ブラックバードのやつはドコへいったかなー。ロンロン、ちよいとタテモノの中へはいつてみよう」

(4) 「なるほど、ここがキカイ室か。いろいろなものがあるな。それにしてもブラックバードはどこにいる。やい出てこい。ロンロンロロン」

(5) トナリのヘヤでは「来たなロボットめ。あいつは鉄でできているから、このスイッチを入れて強いデンキジシャクですいつけてやろう」バードはデンキジシャクのスイッチをいれました。

(6) ヒュー「わーっ、体が何かにすいよせられるよー」ヒュー

(7) パチーン「わッ、ボクのセナカがくつついではなれない。これはたいへんだ。うーんロロンロン。どうやつてもはなれないよー」

(8) ブラックバードは高い塔の上からおりてきて「やい、チビロボットめ。お前はさびついてこわれてしまふまでこのデンキジシャクにすいついていろ。ウハハハハ」ブラックバードはロボット太郎をあざ笑うと

(9) これでガンマアの手下のロボットは片づいた。あと、もうひとつジャマなのは空とぶ玉にのつてくる小人ハカセだ。私はこれから原子人間になつて、日本の山の中へいつて小人ハカセをやつつけてくる」

(10) その夜もふけたころ、ひとすじの光にのつてブラックバードは日本の山の中の小人ハカセの家へ来ました。家の中では

原始人間⑯

(11) 小人ハカセはおそらくまでしらべのをして います。「ふーむ、この本でみるところ いって いるな。ふーん」そしてオクのヘヤでは、ミドリがやすらかにねいきを立て いました。

(12) 「ふふふ、この家は小人のじいさんと女の子か…ふふふ。さて、どっちから先に片づけよ うか」へやの中には、スッとあらわれた原子人間。果して…